

新型コロナウイルス感染症の拡大防止にかかる議会傍聴についてのお願い

本会議や委員会の傍聴につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、極力、ご遠慮願います。

なお、どうしても傍聴を希望する場合は、傍聴受付での体温の測定により37.5度以上の発熱がないこと、強いだるさや息苦しさがないこと等を確認の上、傍聴を認めることとなります。

その際は、マスク着用や咳エチケット、手洗いの徹底をお願いいたします。

詳細は議会事務局議事課にお問い合わせ願います。

お問い合わせ先

議会事務局議事課 電話 029-301-5634

県議会の情報公開について

県議会情報公開制度は、広く開かれた県議会の実現のため、公文書を開示、提供する制度です。

また、インターネットを利用した開示請求もできるようになっています。詳細については、お問い合わせください。



茨城県議会議場

お問い合わせ先

議会事務局総務課 電話 029-301-5613

県議会だよりに関する感想や意見をお聞かせください

県議会だよりは、県議会の活動を広く県民の皆様に知っていただくため、原則として、年4回開催される各定例会後に発行しています。

主に新聞への折り込みにより県内各世帯へと配布しているほか、県内の大学と高等学校3年生などにも配布しています。

なお、過去の県議会だよりは、県議会ホームページからご覧いただけます。

より良い県議会だよりとするため、感想や意見などがございましたら、お聞かせください。

■県議会ホームページ(県議会だよりコーナー)
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/tayori/index.htm>

お問い合わせ先

議会事務局政務調査課
 電話:029-301-5646 FAX:029-301-5629
 E-mail:gikai@pref.ibaraki.lg.jp

代表質問(要旨)

県北振興



齋藤 英彰 議員
 県民フォーラム
 日立市選出
 一括方式

議員 県は、県北振興チャレンジプランを策定するなど県北振興に重点的に取り組んできたが、地域活性化には、民間の力を引き出し活用することも必要である。これまでの評価と今後の取り組みは。

知事 産業振興など各分野の取り組みは着実に進み一定の成果が出ている。今後は、成長が期待される医療・宇宙機器分野に挑戦する企業への支援や、常陸牛生産体制の構築と品質向上などの取り組みを、民間活力を積極的に取り入れながら進めていく。

地域医療体制の充実

議員 県が策定する医師確保計画に沿った実効性のある対策を期待したい。厚生労働省による再編・統合が必要な医療機関の指定については、地域実態に即した対応を望む。地域医療体制の充実は今後どう取り組むのか。

知事 医師確保は各医療圏の実情を分析した上で明確な目標を設定し、最優先で進める。医療提供体制は厚労省の指定の有無にかかわらず、地元の医療機関や住民代表などで構成する地域医療構想調整会議で協議が進められている。県では、診療実績のデータ提供や専門家による助言など必要な支援を行っていく。

議員 民間の力も活用して、英語及びプログラミング教育を充実させるとともに、ICT教育

英語及びプログラミング教育の充実とICT教育先進県の実現



ネイティブスピーカーを活用した英語教育の様子

先進県を早期に実現することが不可欠と考えるが、所見は。

教育長 生徒の英語力を高めるため、ALT^{※1}の活用や教員の指導力向上に取り組む。民間企業の専門家によるプログラミング教育や、ネイティブスピーカーによる英語の授業を遠隔で実施するなど、ICT教育先進県としての取り組みを充実させる。

(ほかに、県総合計画の進捗、災害に強い茨城づくり、中小企業への支援なども質問)

災害発生時における迅速な初動体制



高崎 進 議員
 公明党
 水戸市・城里町選出
 一括方式

議員 災害時は、迅速な初期活動が人命救助や被害拡大防止の上で重要である。住民の安全を守るためにも、消防施設の浸水対策をどう促進していくのか。

知事 県では、市町村長などに対し「緊急防災・減災事業債」を活用した早急な消防署の浸水対策や、災害時の円滑な業務遂行に向け、「業務継続計画^{※2}」策定を要請したところである。特に、浸水想定区域内の三十三消防署については、工程表の作成など、万全な浸水対策を講じるよう、強く働き掛けていく。

国・県一体となった総合治水対策の推進

議員 昨年の水害を踏まえ、今後は国・県が一体となり、流す・ためる・備える対策といった、多面的な総合治水対策が必要と考えるがどう推進していくのか。

知事 那珂川・久慈川においては、国・県、市町村が一体となり堤防整備などの河川整備や遊水機能の向上を進めるほか、浸水想定区域での、条例に基づく土地利用制限などにより被害の最小化を目指す。さらに住民の迅速な避難を促進するマイ・タイムライン^{※3}作成支援など、効果的な施策を組み合わせた総合的な治水対策を着実に推進していく。

新型コロナウイルスへの対応

議員 新型コロナウイルス感染症が急速に拡大する中、県民への情報周知や検査・治療体制整備



那珂川などの氾濫により浸水した水戸市飯富・藤井・岩根地区

備にどう対応していくのか。

知事 県民への感染予防策や受療行動などの情報提供のほか、「帰国者・接触者相談センター」で相談に応じている。また、医療機関と連携し、感染を疑う場合は県衛生研究所でPCR検査を実施している。引き続き、適時適切な情報提供と検査・医療体制の強化に努めていく。

(ほかに、SDGs^{※4}達成に向けた取り組み、私立高等学校等への就学支援なども質問)

ことば ※3【マイ・タイムライン】…風水害の時に、個人が避難するために取るべき行動を時系列にまとめたもの。
 ※4【SDGs】…2015年9月に国連総会で採択された17の目標などからなる行動計画。「誰も置き去りにしない」を基本理念に、国際社会が2030年までに目標達成を目指す。